



# あすぴあ通信

2018.7  
61号

## 訪問記

人と人とのつながりを大切にする

### ひの市民活動支援センター

日野市の担当課／企画部 地域協働課



区画整理事務所だった建物を市と交渉し、連絡会の人たちが掃除をしてセンターとして使ってきました

あすぴあ通信では多摩地域にある市民活動支援センター訪問を企画しました。小平と情報交換目的の連絡会を開いてきた6市（日野、八王子、三鷹、西東京、府中、調布）から始めます。

日野市は広さ、人口などの規模が小平市と似ていると言われます。大規模企業が撤退して「元気がなくなった」まちを元気にするための取組み、例えば、地域懇談会、まち活が積極的に行われています。基本構想・計画や「日野市新しいコミュニティづくり白書～地域懇談会の改革から見えてきた3つの知恵～」（＊1）の中でも「ひの市民活動支援センター」が位置づけられています。

支援センターは11年間、NPO法人ひの市民活動団体連絡会（＊2）が市の委託を受けて管理・運営を行っています。連絡会には40団体が加盟していて、団体の中から理事、監事を出して理事会を構成しています。連絡会には、運営、事業、広報、研修の4部会（＊3）があり、正・副部会長には理事になります。「市民活動団体はいろんな考えを持っています。行政がサポートしてくれるとうまくいきます」と溝口事務局長。それには情報交換が必要なので、連絡会主催の市長・議長・市議会議員との懇談会（＊4）も開いています。

プラス ひとこと  
市民参加とは自分たちのイベントにどれだけの市民を呼び込めるかということ

- 日野市日野 1369-27
- 042-581-6144
- 042-581-6144(FAX)
- hino-cagcm@tokyo.email.ne.jp
- <https://www.shiminkatsudou-hino.org/>
- フェイスブックあります

発行：小平市民活動支援センター あすぴあ

1面：ひの市民活動支援センター訪問記  
2～3面：あすぴあ登録団体＆市民活動団体紹介  
こんな活動をしています  
4面：イベント・講座報告 ほか

今年度はセンター内の作業室や加盟団体事務室スペース（年間の使用料12,000円）の模様替えをしました。会員と非会員とで料金に差をつけたカラーコピー機や大判印刷機、高性能裁断機、紙折り機など、設備も充実しています。10月開催の「まちづくり市民フェア」では地元商店街で使える“まちづくり応援券”的アイディアを取り入れています。どうしたら市民活動が活発になるのかを常に考えながら、柔らか頭で話し合いに情熱を注ぐ様子が、溝口さんと職員の高橋さんの話しぶりから伝わってきました。

（＊1）白書内3つの知恵：できることを持ち寄る、ゆるやかなつながり、地域の“個性”を楽しむ  
（＊2）任意団体だった連絡会は3年前に法人格を取得  
（＊3）運営（会員の管理、コピー機使用料など運営そのもの）、事業（センターまつり、市民フェアなど）、広報（連絡会ニュース、HP、フェイスブックなど）、研修（市民活動の推進に有益な講座）  
（＊4）出席できない団体のために事前に意見を集め、まとめて懇談会に提出



カラーコピー機

大判印刷機



加盟団体事務室スペース

◆これからのイベント  
8/4 センターまつり  
10/21 まちづくり市民フェア 2018